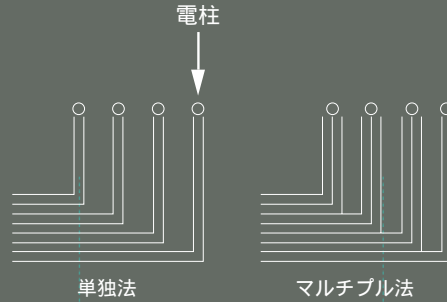


メタリックケーブルの配線法

Wiring system of metallic cable



固定配線法

- 柱単位に予め心線を配分しておく配線法
- 単独法とマルチプル法がある

1955

1960

1964

1965

1970

1971

1975

1980

1981

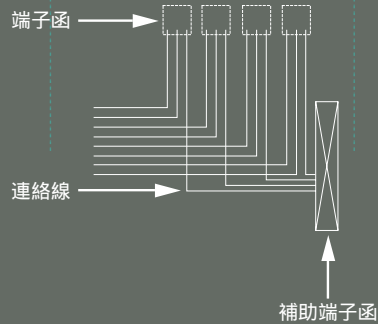
現在

配線区域 100または50加入を単位 / 需要に応じて細かく設定 (固定配線法、連絡配線法、自由配線法)

終局需要数600加入を目安 / 固定配線区画を設定 (き線ケーブル配線法、FD配線法)

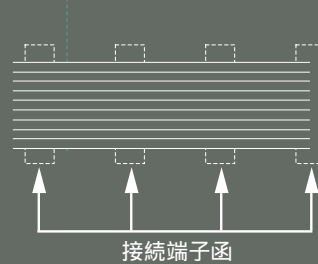
連絡配線法

- 端子函相互などで連絡線を有する配線法
- 心線の融通度は高いが線番の管理が複雑である



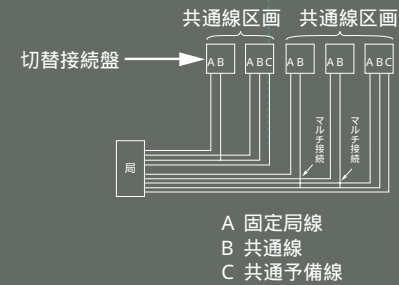
自由配線法

- 全端子函でケーブル内の全心線が選択可能な配線法
- ケーブルのプラスチック化により可能になった



き線ケーブル配線法

- “き線” と “配線” の区別により設備量の調整が可能な配線法
- 配線区画内はマルチ接続の自由配線法である



FD配線法

- 設備信頼度の均一化が図られた配線法
- 配線区画内は非マルチ接続の自由配線法である

